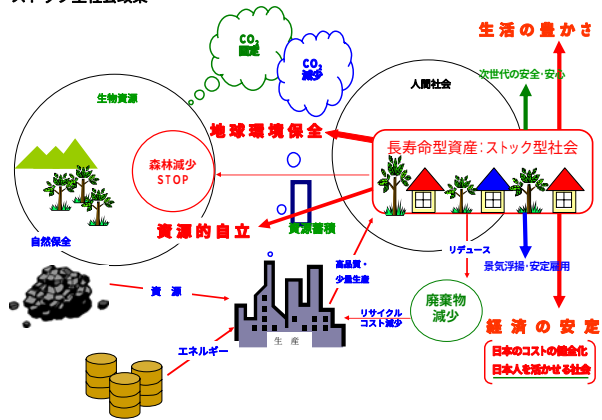
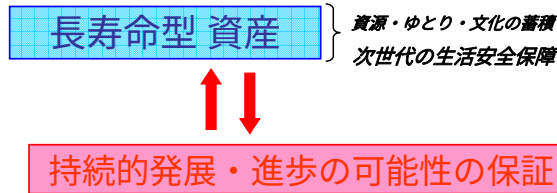




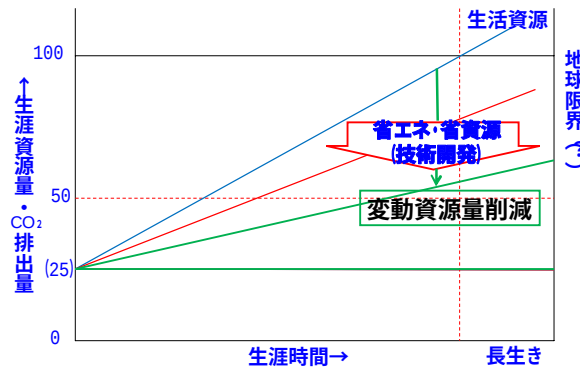
長寿命型資産の形成

ストック型社会のつくり方-1 (ハード編)

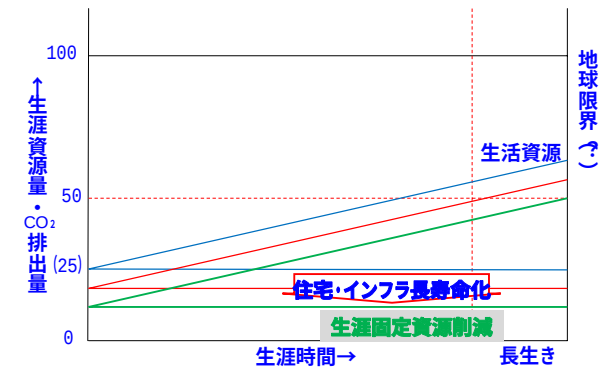
<持続的発展の条件>



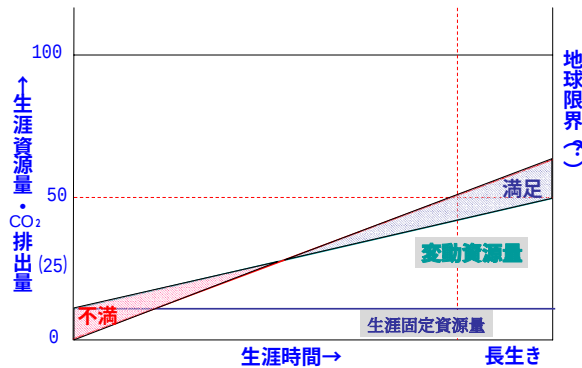
省エネ・省資源



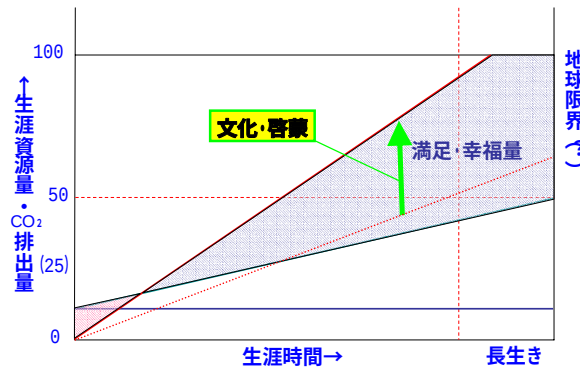
省エネ・省資源+長寿命



省エネ・省資源+資源長寿命型利用+価値観・文化(教育)



省エネ・省資源+資源長寿命型利用+価値観・文化(教育)



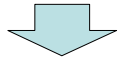
他の先進国は

フロー資源 (省エネ・省資源) だけを
考えれば良いが……

私達は事情が違う

私達にはストック資源が無い!

ストック資源 = 長寿命型生涯固定資産

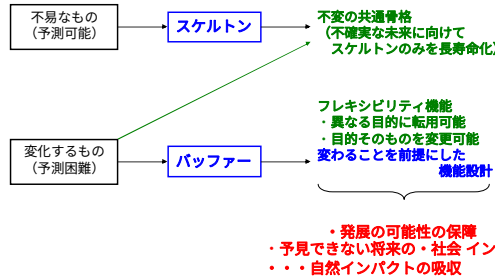


長寿命型資産 = 世代間蓄積型資産

長寿命型資産にするための条件が重要！

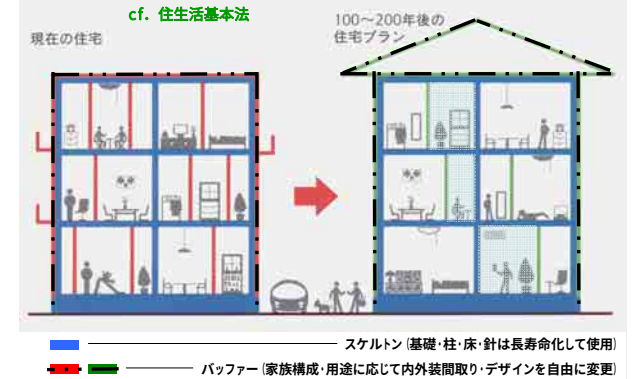
長寿命型資産にする条件

スケルトン & バッファ 理論: 持続的发展・進歩の保証



*ハード・ソフト両面の概念

「スケルトン&バッファ」の概念による住宅・建物構想



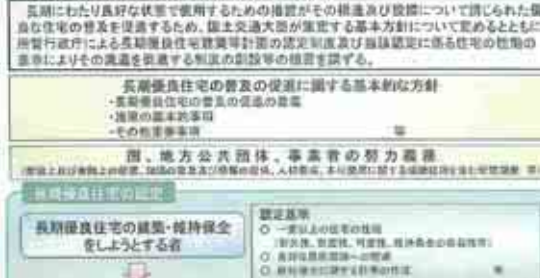
通称/200年住宅普及促進法

平成20年11月27日成立

「200年住宅」は「ストック型社会」に向けた手段の一つ

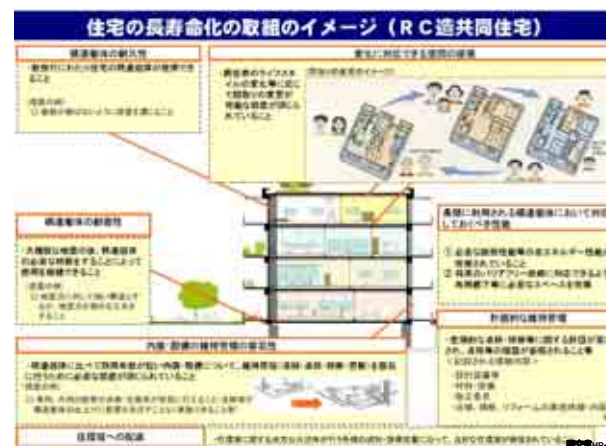
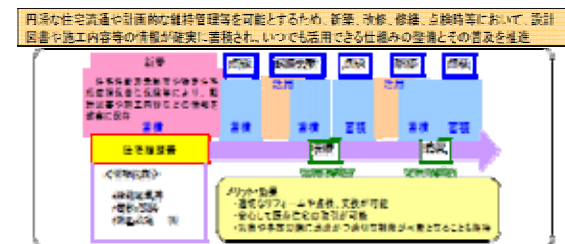
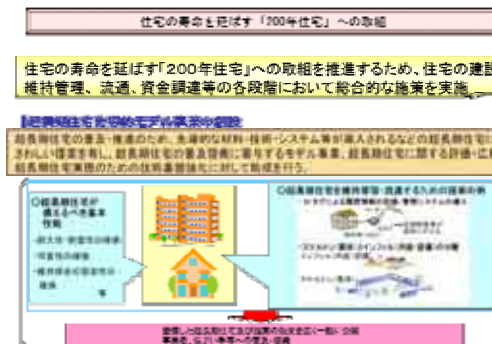


長期優良住宅の普及の促進に関する法律



H23.3.23(木) 読売(朝)





世代を超えた「ストック」になり得るのは

「一軒の建物」ではなく

「街区」・「都市」など・・・「全体／調和」が条件

＊後世代に無用資産を遺さぬため
バックカスティング評価が条件

現在の街区

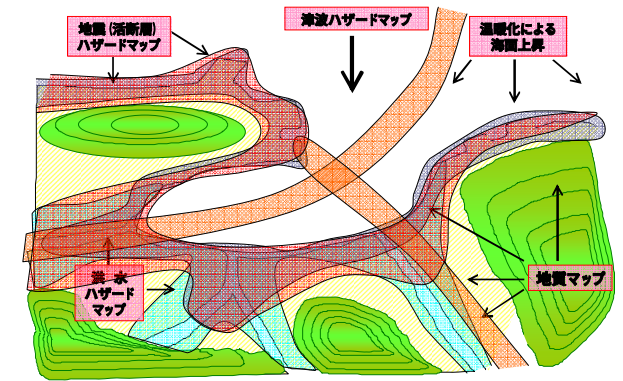
従来仕様

長寿命型

100～200年後の街区プラン (こちらを先に設計する)

アロケーション

都市域のアロケーション



アプリケーション 地理編 403

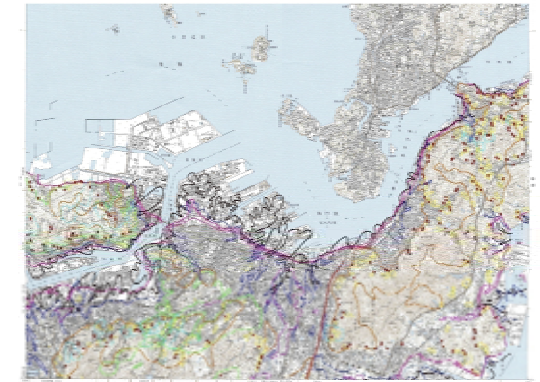


Allocation

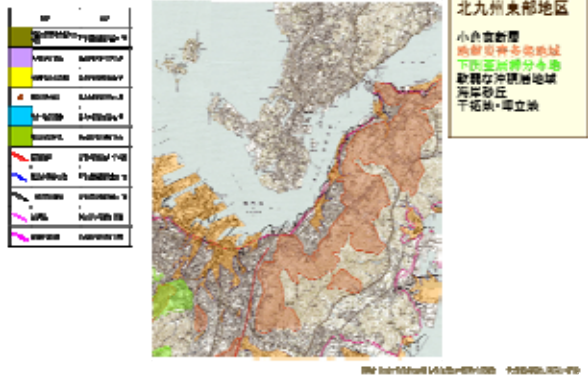
北九州東部地区
小倉東部層
地層実地多泥地層
下関土層分布地
歌仙谷沖積層地層
海岸砂丘
下地・埋立地

アロケーション 地形図 (Topography) 491

Allocation

[illegible]

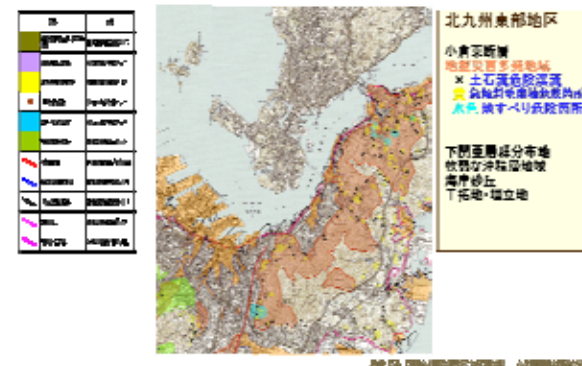
プロローグ 巻頭編 404



Allocations

北九州東部地区
小倉市新豊
西下至浜崎分屯地
新豊分屯地
西下至浜崎分屯地
西下至浜崎分屯地

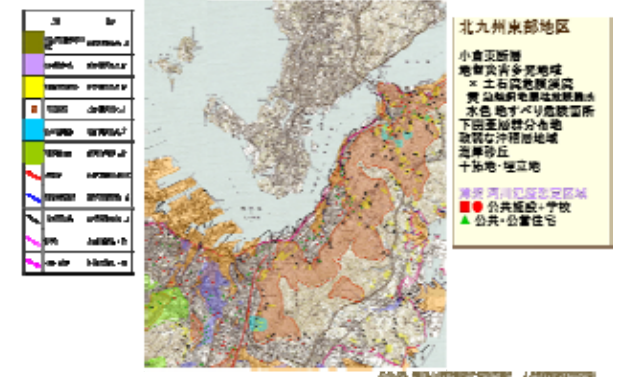
プロケーション 巻頭編 495



Allocation

北九州東部地区
小倉東断崖
地盤災害多発地帯
× 土石流危険渓流
貴会対策推進状況報告
水災被害予防施設箇所
下閉至層分布地
牧野沖積扇地境
海岸砂丘
下地帯・孤立地

アロケーション 地形図 地形図



Allocation

北九州・東部地区

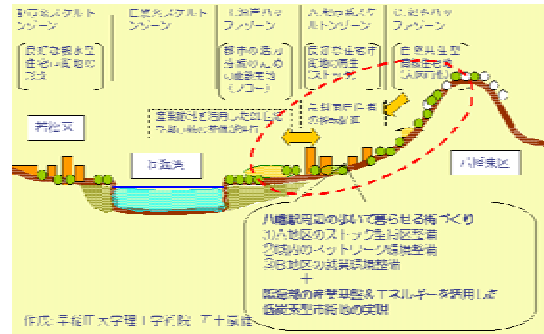
小倉支断層
地質調査多発地域
× 土石災害頻発箇所
● 益田川毛里山流域重点
水色・地すべり危険箇所
下笠置層群分布地
取壊し沖積扇地域
海岸砂丘
十站地・埋立地

横浜・河津川氾濫想定区域
■ ● 公共施設・学校
▲ 公共・公営住宅

アロケーション / ストック型社会
中核 2000 万人規模社会



口八幡中心地区での
環境モデル都市の実践テーマ



資源自律圏の形成

<地球環境・人間社会の共存持続の条件>

資源自立圏の形成・
自然共生

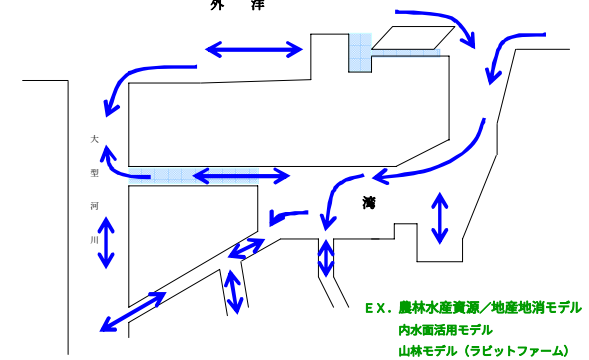
次世代の資源的・環境的
安全保障

地球環境と人間社会の同調

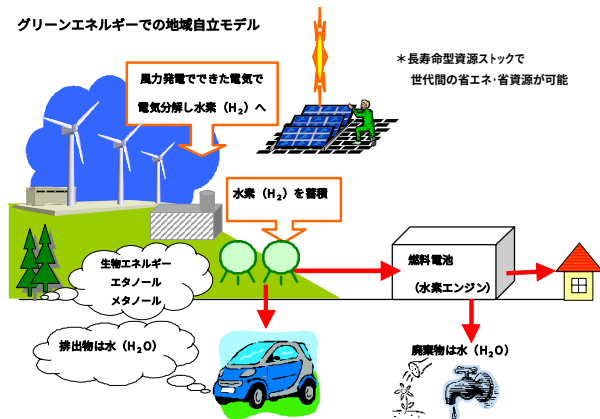


生態系再生と資源の自立：自然系スケルトン（海）
沿岸魚（スズキ・ボラ）の回遊ルート模式図

*食料の自立
自然共生

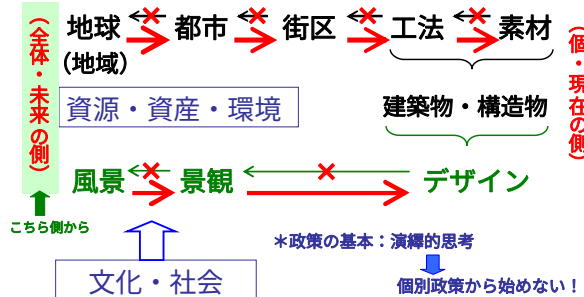


グリーンエネルギーでの地域自立モデル

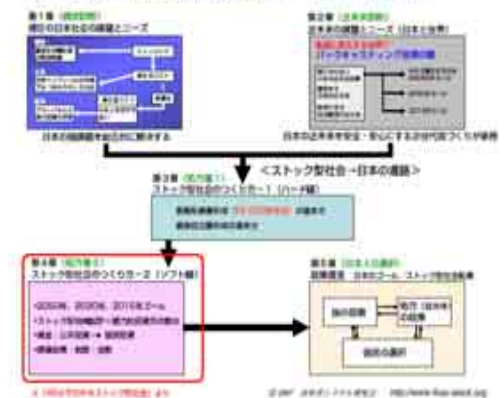


気候・風土

*広視野&長視点の設計



ストック型社会転換のシナリオ（考え方）



日本社会の治療法

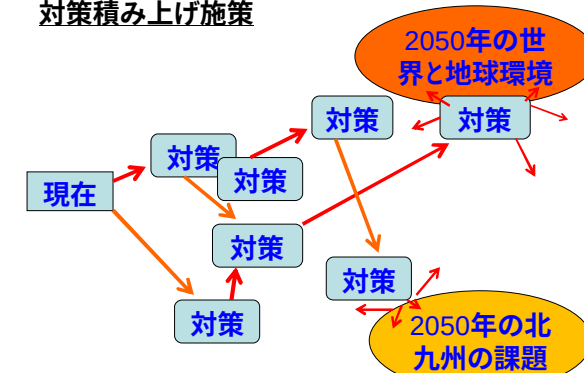
ストック型社会の作り方 その2 (ソフト編)

急速に変化する世界!!
バックカスティング政策

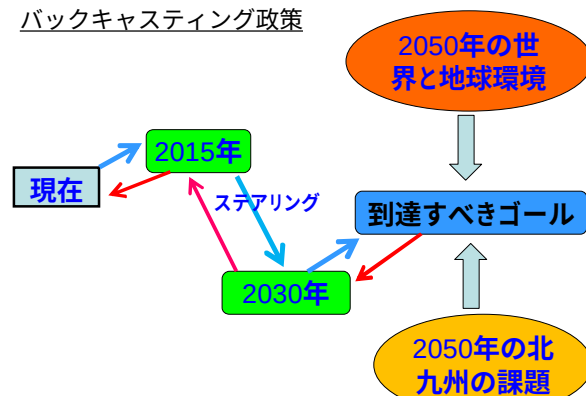
日本の近未来政策
世界の近未来
地球環境の近未来

今から着手する日本の
2050年ゴールの設計
→ 2030年ゴールの設計
→ 2015年ゴールの設計

対策積み上げ施策

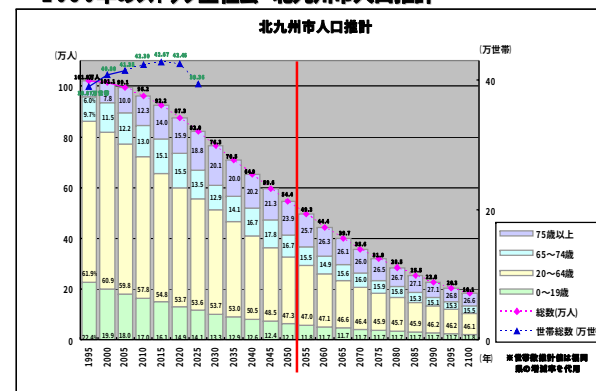


バックカスティング政策



2050年のストック型社会 北九州市人口推計

2050年って？



アロケーション / ストック型社会 小倉 2050年 都市計画図



世界／次世代との約束

→ 2050年までにCO2排出量50%減

[バックカスティング政策]

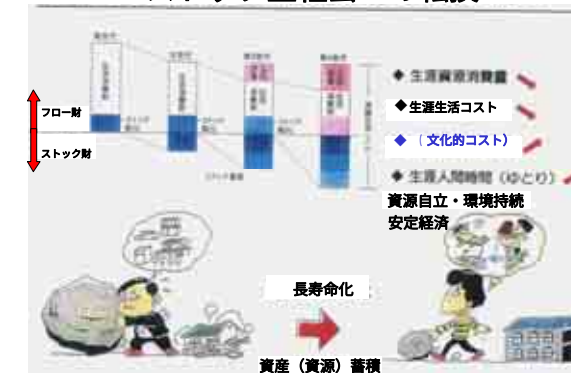
先ず2050年の地域像を描いてみよう。

できるだけ多様な(複数の)選択肢をつくろう！

2050年 東田・中央町地域 大谷・丸山地区



ストック型社会への転換



＊200年住宅はその一要素

- ## この実現を地域から目指す

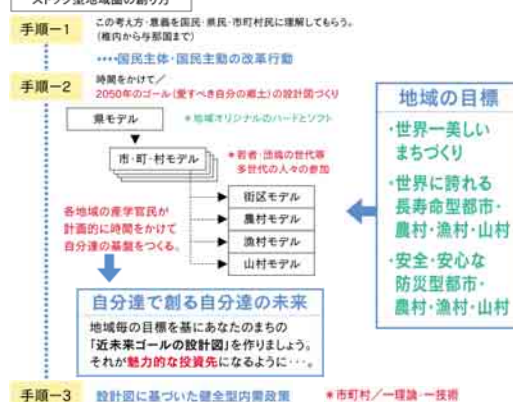
＊環境モデル都市には現在6自治体が選定されている。
＊「環境モデル都市／北九州」は「ストック型社会への転換」が理念。

- 「ストック型社会」への転換……結果として低炭素社会になる。
2050年までにCO2の排出量を50%以下に

・2050年までに魅力的（持続型）都市に変わる！

・L/L (長寿命型) 資産&資源自律を目指した
ストック型社会システムに変わる！

ストック型地域圏の創り方



■3期：恒常社会を実現するストワタ型都市への転換

■ 目標の見える方：

本会では、産業技術振興、社会福祉向上、工業と市民の親睦は必要の前提を説き、同志会下工業系第一の機関が多岐にコンパクトな活動を見据えたとともに、工業と市民間による協働の推進も工業系第一の機関で2006年度として7の施設が大きな役割を果たす。総務に費やした活動もストップを置くべく、目標とする。

■ 研究設計方針

1. 國際法及CFLA2016年國際爭議
(1) 國際法之分類及範圍
(2) 國際法與國內法之關係
(3) 國際法之效力
(4) 國際法之適用
2. 國際公法與國際私法之區別
(1) 國際公法之範圍
(2) 國際私法之範圍
(3) 國際公法與國際私法之區別
(4) 國際公法與國際私法之關係
3. 國際法之效力
(1) 國際法之效力
(2) 國際法之效力
(3) 國際法之效力
(4) 國際法之效力

[illegible]

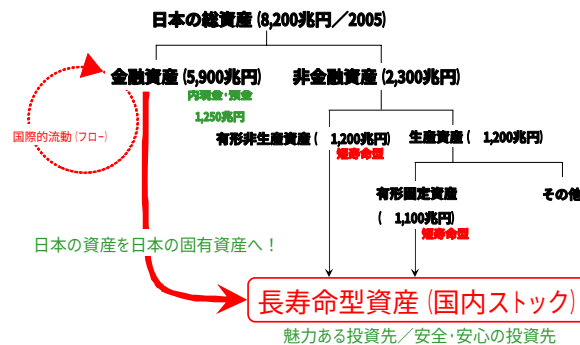
プロジェクト名		官 市		学	産・民
A:	都市:アロケーション	国土計画局	建築都市局	ポリテクカレッジ	Z社、S社
自然生物系	B1:都市内生物回廊	環境省	建築都市局	九大、定量研	定量研各社
	B2:洞海湾資源再生	港湾局	環科研	九州共立大	定量研各社
	B3:C・城・再田圃化	農水省	産業経済局	九大	SP社ほか
	B4:木質200年住宅	住宅局	建築都市局	京大、和歌山大	N設計
	B5:曾根干潟総合再生	環境、農水	環境局	九大、共立大	定量研各社
C:2050年都市づくりロールV.	内閣官房	推進本部	九大、ポリテク		
D:都市づくり「見える化」:	総務省	推進本部	同上		(財)HMCほか
E:地域再生民意創出手法	内閣官房	推進本部	九大(法)		
F:ストック型産業経済構造	経済産業省	産業経済局	九大(経)		不動産鑑定研
G:C・C域:新交通システム			推進本部	九大	
H:ストック型街区先行プロ	都市・地方整備局ほか	建築都市局	九大、早稲田、九大、ポリテク		建築、設計、デベロッパー
I:同上 エリアマネジメント		環境局			

[illegible]

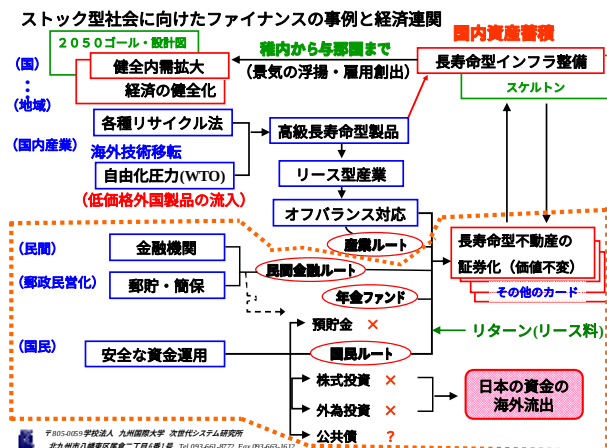
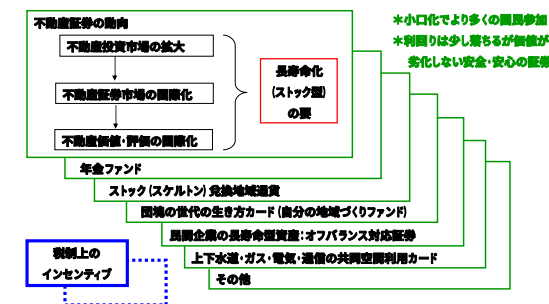
日本の「お金」の使い方

- ・地域の資金で地域のL/L資産を創る。
- ・企業のビジネスモデルを変える。

日本の資産構造

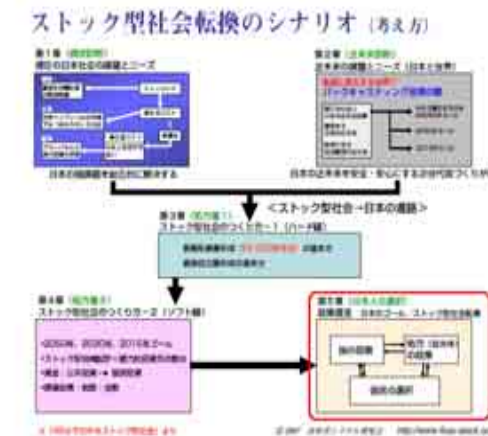


民間が参画を望むファイナンス



仮に次世代に借金を残すことになるのなら、
次の数世代が安心・安全に使える
長寿命型資産を残し
後世代へのツケにならないようにする！

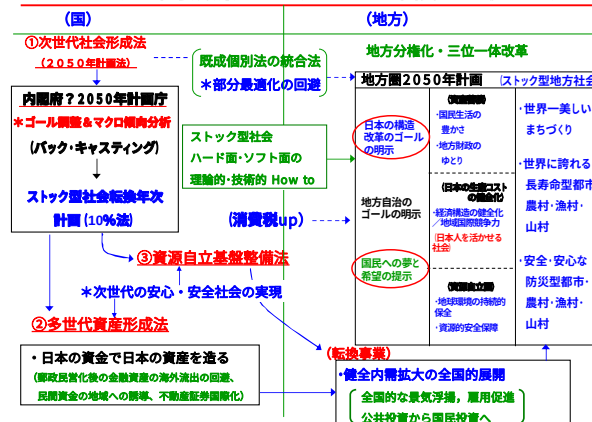
ムダなモノを造らぬようにするために
バックカスティング政策が不可欠



日本を持続型社会にするために・・・

国と地方の分業と協業

F、ストック型社会政策イメージ・・・国民への呼びかけ



- ★地域のストック型社会の設計図が、魅力的な投資先になるよう指導します。
- ★海外で運用されている日本の資金が、日本の資産づくりに向けられるようにします。
- ★産業の新しいビジネスモデルを検討します。
- ★そのための誘導政策（税制や制度など）をつくります。

ストック型社会転換過程の効果

①地方の活性化

- 全国的な景気浮揚・雇用促進／地域格差の解消
- 地域目標(地方分権の核)の形成

②国内経済の安定化

- 国内(地方)への投資拡大
- 健全型内需の拡大

③持続的地球環境と資源安全保障

④国民の希望・夢の形成

- 日本と自分の地域への自信と誇り

Yes, We can! と言えるのか…?

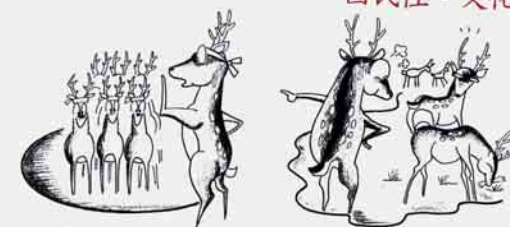
気になる国民性

正義感にはサイズがある!

環境と動物の行動

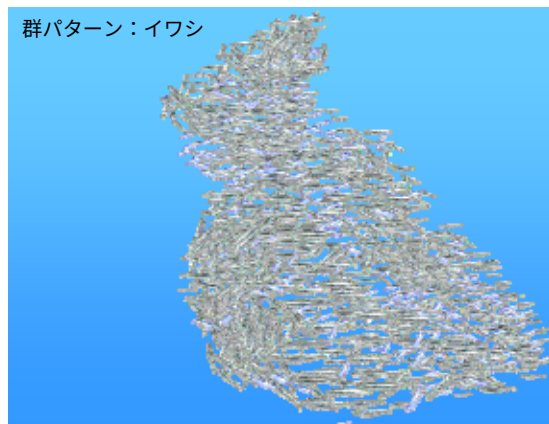
群のルール・規範

社会システム
国民性・文化

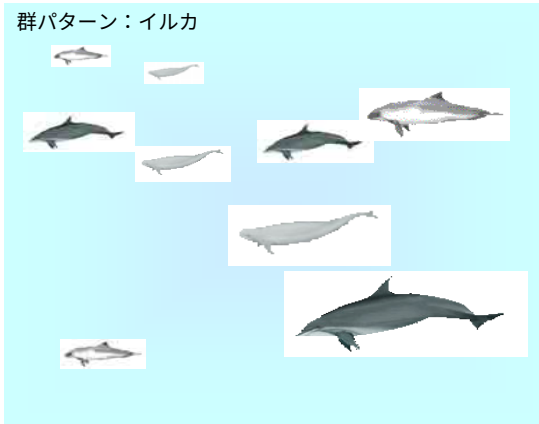


貧困環境・豊かな環境における
動物の行動特性・文化の違い

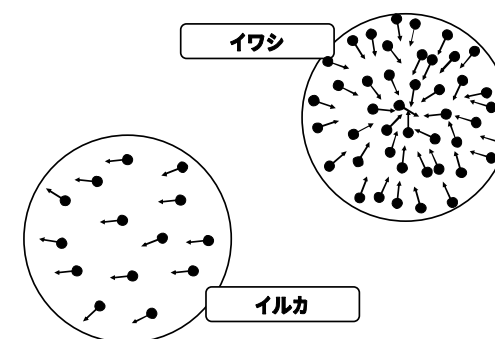
群パターン：イワシ



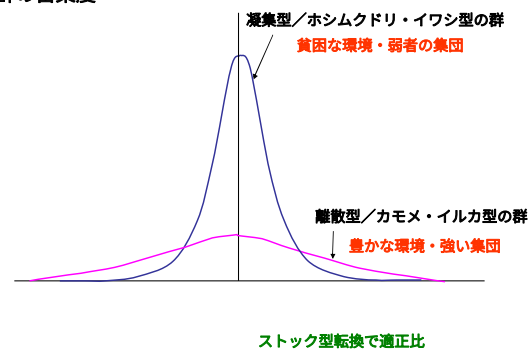
群パターン：イルカ



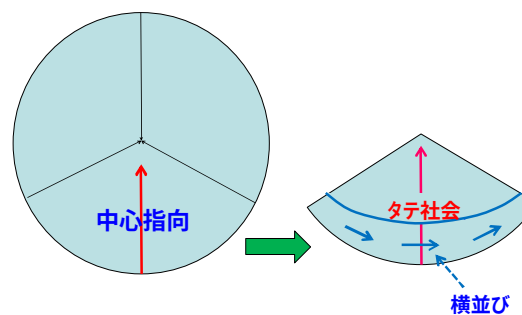
群の中における個体のベクトル



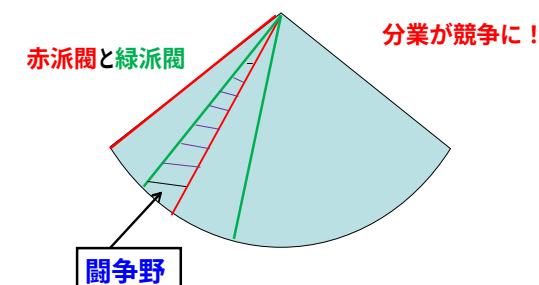
群の密集度



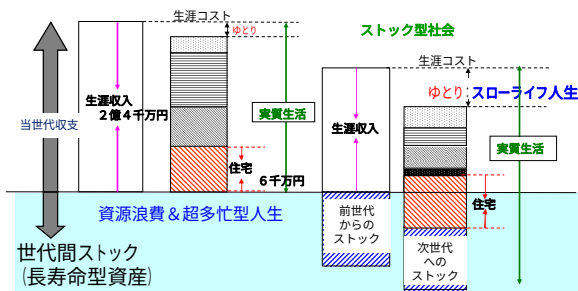
タテ社会と横並び



タテ社会の弊害：セクショナリズム・派閥化の傾向



貧困な生態系（イワシ型） vs 富裕な生態系（イルカ型）



ストック型社会：収入格差があってもゆとりある豊かな生活

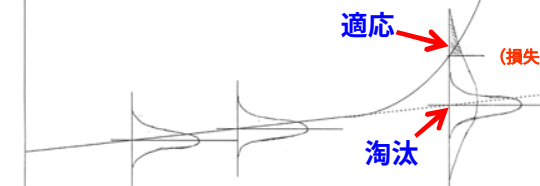
イワシ型社会 → 貧困（弱者）の集団
(群れは大きい程よい)
(一丸で密になる)
仲間の犠牲が前提
前後左右の人との比較しか見えない！

イルカ型社会 → 豊かな集団
(群れは離散的である)
仲間の相互が前提
広い視野・遠くまで見れる！

環境変化と適応特性

正義のサイズ（視野・視点）が命運を決める！

対策型と政策型



過激な内部抗争をする
イワシ・ムクドリ型社会

危機に
気付かない！

世の中の変化が速い！

内部抗争の余裕はない！

小さい正義なら
誰でも同じ！



イワシ型社会の底力

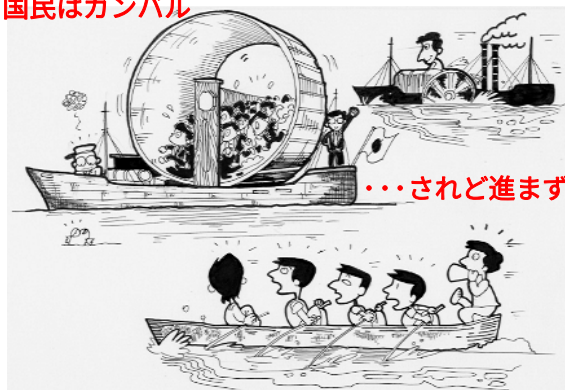
抜群のチームワーク・結束力

だが100%イワシ型は持続的社會にならない！

「部分最適型行動」に陥りやすい

10% イルカ型の存在が不可欠である。

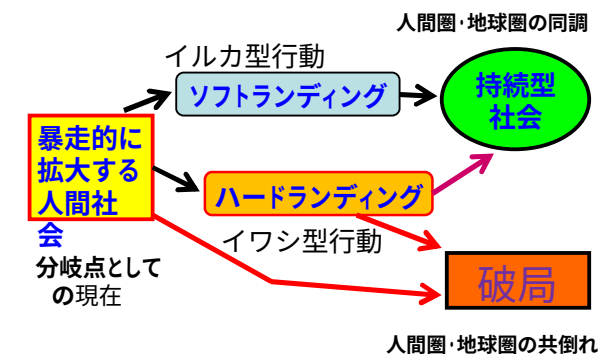
国民はガンバル



一定の「イワシ」族と・・・
一定の「イルカ」族が必要です。

広い視野 & 長い視点で見える人々が
持続型社會を創れる！

個別対策ではなく総合政策が必要



持続の危機の理由

生物的均衡の破局による
地球の物理・化学的均衡の破局



現生人類（ホモサピエンス）の急速な大繁栄

「持続型社会」をつくるには・・・

地球と人間社会の複雑な関係を

①普通の市民に分かりやすく伝える

②地域や市民が自ら行動する

「ヒトの繁栄のカタチ」を変える
「方法」が必要だ。

持続型社会に変えるもう一つの方法

現在（今という時点）の空間闘争（国家間、地域間、企業間、業界間、等々の利害闘争）を
⇒ 世代間闘争（時間闘争）に変える！

方法： International Generation Cabinet
（国際世代団塊機構）の構築

＊利害はもはや世代間に在る！

＊ヒトは未来を予測できる！

ツール：①気候変動予測モデルの前提条件を開示する

②開示データの分析・評価は各世代 IGCがする

⇒ 自世代の未来予測は自世代でする

③各世代 IGCは、それを基に世代政策を展開する

「持続型社会」実現のための「一つの処方箋」
として・・・

「ストック型社会論」を提案する。

